

うさぎとかめの通信

上越市立高田幼稚園

(園長室だより) 109周年
令和7年4月25日 第203号

HPのQRコード→



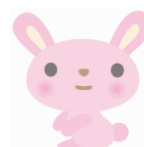
「思い→体験→表現」は、幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本！

☆令和7年度が 明るく元気よくスタートしました。☆



(高田公園にお散歩)

園庭の桜の花が満開に咲き、そして、今は桜の新芽が芽吹いています。そして、3歳児2名を迎え、高田幼稚園の園舎や園庭には、輝く笑顔と元気な声が響いています。今年度は、年少のもも組2名、年中のうめ組6名、年中のまつ組9名の全園児17名、職員11名でスタートしました。今年度もよろしくお願いいたします。



【2年目になります！幼小接続の架け橋プログラム】

義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるためにきわめて重要な時期です。この2年間を文科省では「架け橋期」としています。幼児教育で培われた力を小学校につないでいく接続の取組が、「架け橋プログラム」です。

高田幼稚園では、昨年度から大手町小学校との架け橋プログラムの推進に取り組んでいます。昨年度は、大手町小学校へ散歩がてらに立ち寄り、ミニブタさんや牛を見せてもらいました。また、大手町小学校の1年生が作り上げた「カラフル祭り」に招待され、園児みんなでカラフル広場の祭りに参加して楽しむことができました。それを受け、年長児のまつ組は、自分たちでやってきた「研究所遊び」に1年生を招待しました。子供たちの交流を通して、幼稚園の子供たちが、遊びの中で培ってきた力を活用して、自分からやりたいことを見つけて遊んだり、1年生に自分から聞いたり伝えたりする姿が見られました。また、小学校と幼稚園の職員が一緒に互いの子供たちの学びの姿を共有する研修の場や幼稚園の職員が小学校の授業を参観したり小学校の職員が幼稚園の保育を参観したりして、それぞれの学びに対する理解を図ってきました。

その1年間の相互理解の取組を受け、今年度は幼小の架け橋カリキュラムの作成を行います。そのために、前年度3月に幼小の関係職員で架け橋会議を行い、架け橋期の子供たちに期待する子供像を話し合いました。みんなでどんな子供の姿かを具体的に出し合い、それをまとめていきました。1年間の相互理解があったから、小学校の先生方の言葉に対してもすぐにイメージを共有でき、言葉は違っていても期待する姿や学びのプロセスは、同じだと実感できました。

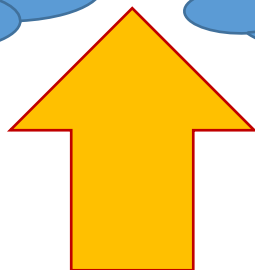
期待する子供像と大切にしたい学びのプロセスが次の通りです。

高田幼稚園・大手町小学校【期待する子供像（架け橋期）】

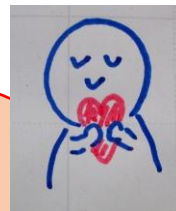
わくわくを広げ、にこにこ遊ぶ子供

自分のわくわくを広げる
友達とわくわくを広げる

遊びや学びが楽しい！
自分を好きになる！



【幼・小で大切にしたい学びや遊びのプロセス】



【自信】
自分が好き
自分も周りも大切にする
自分のよさが分かる

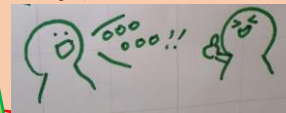


【情熱】
知りたい
学ぶことが楽しい
あきらめない

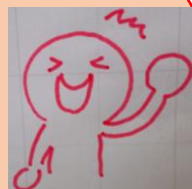
【協力・協働】
力を合わせる
みんなを大切にする
友達とおもしろいを見つ
ける



【表出・表現】
新しいものを作り出す
自分を表現する
いいねと受け止める



【好奇心・興味・関心】
やってみたい！
わくわくドキドキ！
おもしろい！



幼稚園では、この期待する子供像にむけて5歳児だけでなく3歳児も4歳児も同じように遊びのプロセスを大切にして積み重ねていきます。